

地域力で理想の社会を実現する 平成18年度予算

4月からの1年間に区が行う事業とその経費を定めた18年度の予算が決まりました。今号では新年度予算の内容について紹介します。 問 財政課 ☎(5662)6148

予算総額 3,038 億円

一般会計 1,879 億円



平成18年度
予算編成にあたって

江戸川区長 多田正見

我が国の経済は、ようやく明るい兆しが見え始めたところです。しかし、本区財政に目を向けますと、歳入に占める区税収入の割合は低く、今後、少子高齢化による人口構造の大きな変化や築50年を超える学校の建て替えなど、ますます財政圧力が高まっています。また、都との役割分担や都区財政調整交付金の配分については、今後も協議を続けることになりましたが、将来の区財政に大きな影響を及ぼす恐れがあります。このような状況の中で、大きく変革する時代の流れ

に的確に対応し、区民のみなさんの期待に応える区政を推進するため、より一層の行政運営の効率化に取り組んでまいります。18年度予算は、地域力の源泉である「人づくり」や「安全・安心なまち」を支える都市基盤整備を大きな柱に据えたものです。特に内外から高い評価を受ける子育て支援施策は、他の関心を引く本区の特長となっています。これからも行財政改革に取り組み、「共育」「協働」の理念のもと、理想の地域社会の実現に向けて全力を尽くします。



■「共育」「協働」の理念のもと、力を合わせて更なる改革を推進！

平成18年度 重点施策

◆未来を担う人づくり

子どもたちが「生きる力」を身に付けるための事業・環境を一層発展させることによって、急激に進む少子化の中で、高い出生率を維持する本区の魅力を更に高めていきます。

◆学びと協働による区民文化づくり

多くの方々により良い地域を作り上げようという活動が、区内全域に広がっています。この本区ならではの良さを活かし、文化の創造と地域力を育てるための新たな拠点づくりに取り組んでいきます。

◆いきいきとした生活のための健康・福祉の社会づくり

高齢化が進む中で、熟年者が介護を必要とせず、地域で活躍できる施策を進めます。また、介護が必要な方や障害のある方が、できるかぎり自立した生活を送れるように環境を整えていきます。

◆区民参加による環境づくり

えどがわエコセンターを中心に、物を大切に扱うという環境改善運動を全区的に展開します。また、清掃事業の区への完全移管に伴い、ごみの減量と資源リサイクルを更に推進していきます。

◆活力を創造する産業づくり

地域社会に活力を生み出す区内産業を一層支援するために、各分野で大学と企業との産学交流を進め、競争力のある新たな製品の開発や知的財産の創造などを期待します。

◆区民の暮らしを力づくよく支えるまちづくり

災害に対するまちの安全性を高めるために、都市基盤を向上させる事業を着実に前進させていきます。また、放置自転車対策や南北交通の解決についても、全力を尽くしていきます。

◆区民本位で効率的な区政運営

厳しい財政状況の中で、民間のノウハウや専門性を活用し、またITを利用したシステム改革を一層進めることによって、質の高いサービスを提供していきます。

新年度予算の主な新規・重点事業 → 2・3面
数字でみる平成18年度予算 → 4面

新規・拡充 113事業

人づくりと区民生活の安心を支える 主な新規・重点事業



未来を担う人づくり

家庭での子育てを支援します

- ▶ **子ども医療費助成事業(拡)** 24億1,846万円
従来の乳幼児医療費助成に加え、小学1年生～中学3年生のお子さんが入院した際の医療費自己負担分を助成します。
- ▶ **民間病後児保育事業の助成(新)** 800万円
病気の回復期にあり、集団保育が困難な状況のお子さんを一時的に預かる民間医療機関の事業を助成します。

地域での次代を担う人づくりを進めます

- ▶ **共育プラザの整備と運営(拡)** 8億6,905万円
中学・高校生の活動拠点として3館の整備を行い、特色ある活動ができるよう運営します。
- ▶ **すくすくスクール事業の運営** 7億8,486万円
小学校全校で実施しているすくすくスクールでは、地域との協働により、家庭や学校では得がたい様々な体験を通してバランスのとれた子どもの育成を目指します。



■中学・高校生の活動拠点、共育プラザ

多様な保育サービスを提供します

- ▶ **保育園の建設・認証保育所の増設・延長保育の拡大(拡)** 32億2,137万円
保育園の待機児解消を目指し、21年度開園に向けて保育園を新たに建設します。
また、多様な保育ニーズに応えるため、認証保育所を増設するほか区立保育園の延長保育定員を拡大(240人⇨260人)します。
- ▶ **子育て環境の更なる充実を目指します**
- ▶ **私立幼稚園等保護者負担軽減補助** 41億3,164万円
私立幼稚園などにお子さんを預けている保護者の負担を軽減するために、保育料(月額26,000円限度)や入園料(80,000円限度)などをこれまでどおり助成します。



■子育て環境の更なる充実を目指します

21世紀にふさわしい学校教育を推進します

- ▶ **家庭学習キャンペーン(新)** 75万円
基本的な生活習慣の確立と家庭学習の定着・充実を目指し、学校・家庭・地域の連携に基づく様々な取り組みを実施します。
- ▶ **学校の安全対策(新)** 1億950万円
小学校全校に防犯カメラを設置し、学校の安全をより一層高める取り組みを行っています。
- ▶ **心身障害学級の増設(拡)** 6,774万円
特別に支援を必要とする児童・生徒の増加に対応するため、心身障害学級を増設(18年4月⇨小岩小学校情緒障害学級、19年4月⇨小学校3校・中学校1校)します。

- ▶ **チャレンジ・ザ・ドリーム(職場体験)(拡)** 525万円
多くの方々との触れ合いを通して、コミュニケーション能力や社会性・思いやりの心などを身につけられるよう、区立中学校2年生全員を対象に、連続5日間の職場体験を実施します。
- ▶ **小学校スクールカウンセラー(拡)** 2,352万円
いじめや不登校など様々な問題の未然防止・早期解決のため、小学校に配置しているスクールカウンセラーを増員し、派遣日数と時間を大幅に拡大します。
- ▶ **学校給食費保護者負担軽減** 4億9,481万円
23区で江戸川区だけが実施している、学校給食費に対する補助を継続します。



■挨拶から始まるチャレンジ・ザ・ドリーム

いじめや不登校など様々な問題の未然防止・早期解決のため、小学校に配置しているスクールカウンセラーを増員し、派遣日数と時間を大幅に拡大します。

学びと協働による区民文化づくり

- ▶ **松江地区区民施設の建設(新)** 11億3,409万円
老朽化した松江図書館の建て替えにあたり、図書館とコミュニティ施設の機能を併せ持つ施設を建設します。
- ▶ **篠崎駅西口公益複合施設の整備(新)** 2億8,150万円
篠崎駅西部土地区画整理事業地区内に建設を予定している公益複合ビルについて、3階部分を区が買い取り、図書館や江戸川総合人生大学、歴史・文化・産業などの企画展示機能を持つ区民施設として整備します。
- ▶ **図書館サービスの充実(拡)** (図書館管理運営経費) 10億2,551万円
小松川・篠崎・葛西図書館で、休館日だった月曜を開館し、また、17時までだった日曜・祝日の開館時間を平日と同じ20時まで延長します。
- ▶ **公共施設予約システムの開発(新)** 2,183万円
既に導入しているインターネットを利用したスポーツ施設の予約システムを発展させ、コミュニティ会館などの区民施設の予約も可能にするためのシステム開発を行います。



■世界の人々と交流「青少年の翼」

- ▶ **青少年の海外派遣事業「青少年の翼」(拡)** 3,187万円
野村・立井国際交流基金を活用して、国際感覚を持った次代を担う人材を育成するため、区内在住の中学・高校生を海外へ派遣します。派遣先は4コース。派遣人数は80名から100名に拡大します。

いきいきとした生活のための健康・福祉の社会づくり

みなさんの健康づくりを応援します

- ▶ **各種健康診査の充実(拡)** 22億3,954万円
多くの区民に活用されている区民健康診査などを充実し、さらに成人歯科健康診査の対象年齢に65歳・70歳を追加します。
- ▶ **妊婦健康診査助成金制度(新)** 225万円
里帰り中のため都内の委託医療機関で健診が受けられない方に対して、里帰り先で健診を受けた場合、受診料の一部を助成します。

- ▶ **自動体外式除細動器(AED)の設置(新)** 120万円
心停止となった方への救命措置が迅速に行えるよう、区役所本庁舎・各事務所、健康サポートセンターなど14施設に設置します。
なお、17年度末に中学校を含む66施設に設置しました。

熟年者の生活を支援します

- ▶ **地域密着型サービス拠点などの整備(新)** 1億円
認知症の方やひとり暮らしの熟年者などが住み慣れた地域でサービスが受けられるよう、地域ごとの介護拠点整備計画を立て、基盤整備のための支援を行います。
- ▶ **社会福祉協議会による法人後見の試行(新)** (権利擁護・支援事業費) 1,717万円
判断能力が弱まった熟年者などが地域で安心して生活を送ることができるよう、権利擁護事業のひとつとして社会福祉協議会による法人後見を進めます。
- ▶ **介護予防事業(新)** 2億721万円
生活機能の低下が見られる熟年者に対して、心身の状態に合った介護予防サービスを行います。熟年いきいきトレーニングや熟年ふれあいセンター、シルバー健康教室など、様々なメニューで実施します。

障害のある方々の生活を支援します

- ▶ **障害者就労援助センター事業(拡)** 3,408万円
障害者自立支援法では、障害者をもっと「働ける社会」に向けて就労支援を強化することがねらいのひとつになっています。障害者の一般就労に向けた新たな支援として、障害者就労援助センターが企業内での授産活動を行います。
- ▶ **社会復帰施設助成(新)** 1,868万円
旧葛西健康サポートセンターの移転跡地を利用して、精神障害者が社会復帰するための活動支援センターを18年秋に開設する予定です。運営は東京福祉専門学校が主体となって行います。そのほかの2施設を含め、区が運営費の補助を行います。

福祉のまちづくりを推進します

- ▶ **バリアフリーの推進** 4億1,433万円
一之江コミュニティ会館と平井コミュニティ会館にエレベーターを設置します。また、区内の歩道の段差改良(300か所)、音声誘導装置の設置(8基)などを行います。

区民参加による環境づくり

- ▶ **えどがわエコセンター事業の推進(拡)** 3,894万円
区内企業を対象に、環境に配慮した取り組みへの証としてエコカンパニーの認証制度を創設します。
- ▶ **ペットボトル集積所回収モデル事業(拡)** 3,372万円
効率的な回収の確認、不燃ごみ量への影響、店頭回収量への影響などを検証するため、範囲を拡大して実施します。
- ▶ **安全・安心まちづくり運動の推進(拡)** 4,693万円
区民の携帯電話へ防犯関係のニュースをメール配信することにより情報の共有化と防犯意識を高め、犯罪抑止に努めます。
- ▶ **アスベスト対策(拡)** 1,083万円
区民の方への相談体制を継続するとともに、民間建築物のアスベスト



■地域力が支える安全・安心まちづくり

- 調査費の助成を行います。なお、現在、区施設についてはアスベストの除去工事を進めています。
- ▶ **環境行動計画の推進(拡)** 2億2,132万円
省エネ診断を実施した大規模15施設について、二酸化炭素排出量並びに光熱水費の削減のためのエコ改修を行います。

活力を創造する産業づくり

- ▶ **特産品ショッピングモールの運営(拡)** 192万円
17年度から開発中の、インターネット上に商店街のような機能を持つ「電子市場システム」をNPO法人に委託し、区の伝統工芸品・特産品などの紹介や販売をしていきます。
- ▶ **産学連携コーディネーター派遣(新)** 210万円
区内企業とコラボ参加大学との共同研究や新製品開発を促進するため、産学連携コーディネーターを区内企業へ派遣します。
- ▶ **コラボ大学連合学長会議(新)** 59万円
コラボ参加大学学長会議に際し、区の紹介を行うとともに会議の支援を行います。



■商店街の魅力を高める取り組みを支援

- ▶ **モデル商店街支援事業(拡)** 1,000万円
積極的に「特長ある商店街づくり」に取り組んでいる商店街をソフト・ハード両面にわたり総合的・重点的に支援します。
- ▶ **えどがわ農業産学公プロジェクトの発足(新)** 119万円
農業経営者クラブなどと弘前大学が連携し、小松菜などの含有成分の分析や新品种の開発など、共同研究に取り組みます。
- ▶ **ヤングほっとワークえどがわの充実(拡)** (就労支援関係費) 257万円
ニート予防のために教師・保護者を対象としたセミナーや保護者対象の個別相談を実施します。また、ヤングほっとワークえどがわのホームページを開発します。

区民のくらしを かぶよく支えるまちづくり

- ▶ **都市基盤の整備・充実(拡)** 102億8,762万円
土地区画整理事業(3地区・58.6ha)や組合施行土地区画整理の推進、京成本線連続立体事業、JR小岩駅周辺まちづくり、木造密集市街地の改善、地区計画の推進、景観地区の指定、都市計画道路の整備(街路工事・用地買収など)、江戸川のスーパー堤防化とまちづくりなどを着実に進めています。
- ▶ **シャトルバスの実証運行(6か月)(新)** 4,800万円
南北交通の課題解決に向けて、便利なシャトルバスを導入するための検証を行います。
- ▶ **駐輪場の整備(拡)** 31億270万円
船堀駅駐輪場が18年10月に、葛西駅東西広場と篠崎駅駐輪場が20年4月にそれぞれ完成の予定です。
- ▶ **木造住宅などの耐震化促進(新)** 4,161万円
耐震コンサルタントの派遣や耐震改修計画等支援、熟年者・障害者耐震改修等工事費助成、家具の転倒防止ボランティア支援を行います。



■小岩駅北口地区再開発事業



数字でみる

平成18年度予算

区は、区民のみなさんの税金や国・都からの交付金などを財源として、区民生活に直結する様々な施策を行っています。限られた貴重な財源を区民サービス向上のため有効かつ適切に活用し、安全・安心の区政を進めます。

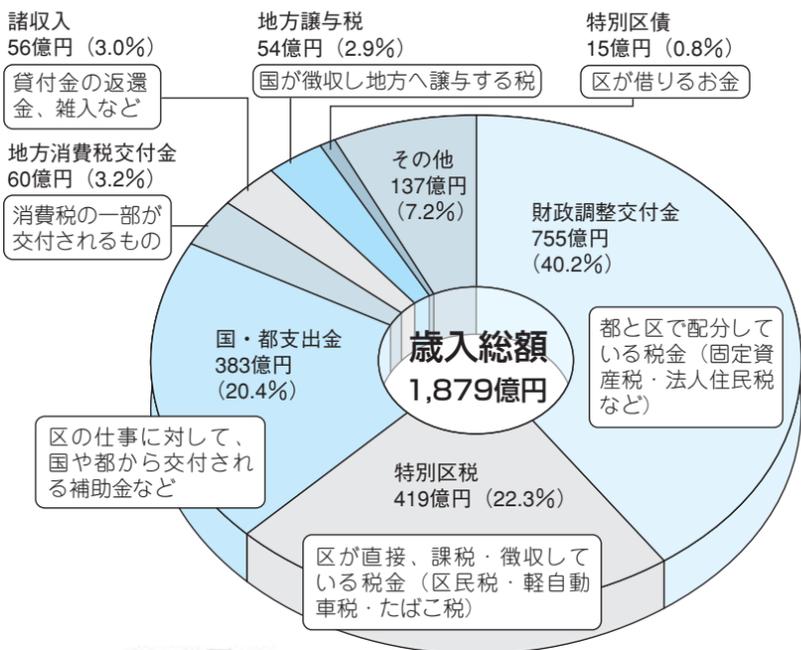
問 財政課 ☎(5662) 6148

会計別予算の規模

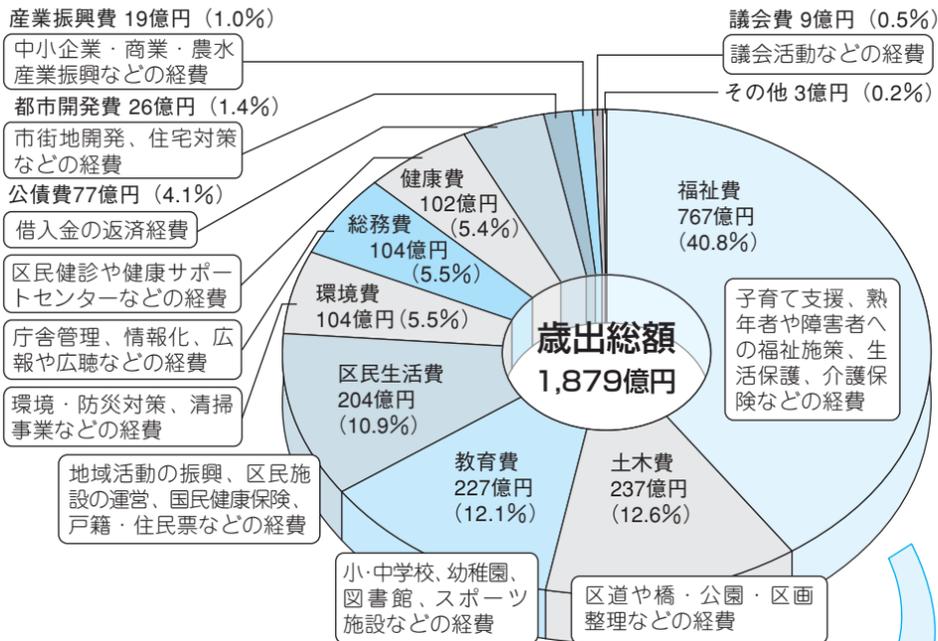
区分	18年度	17年度	増減率
一般会計	1,878億8,639万4千円	1,865億5,665万6千円	0.7%
国民健康保険事業特別会計	595億6,330万2千円	602億5,960万8千円	△1.2%
老人保健医療特別会計	339億5,076万4千円	336億499万2千円	1.0%
介護保険事業特別会計	223億6,638万5千円	213億2,363万円	4.9%
用地特別会計	0円	7,740万5千円	—
合計	3,037億6,684万5千円	3,018億2,229万1千円	0.6%

一般会計の内訳

歳入



歳出《目的別》



歳出の性質別の内訳

性質別	金額 (億円)	割合 (%)
扶助費	506	26.9%
人件費	412	21.9%
物件費	247	13.2%
投資的経費	239	12.7%
補助費等	171	9.1%
繰入金	169	9.0%
公債費	77	4.1%
その他	58	3.1%



平成18年度一般会計予算額を1万円に換算しました

熟年者福祉 障害者福祉などに 2,239円	子育て支援などに 1,843円	道路・公園の整備 まちづくりなどに 1,401円	学校教育 生涯学習などに 1,209円	地域活動の振興 区民施設の運営などに 1,087円
環境・防災対策 清掃事業などに 556円	健康施策などに 541円	区の借入金の返済に 411円	産業の振興などに 100円	その他 (区政運営・議会活動) 613円